

第27回 文学館演習 —日本近代文学資料の探索と処理— 2025年度募集要項・スケジュール表

日時 2025年8月26日(火)～30日(土)の5日間 各日 午前10:00～午後5:15 (但し初日は変則的な時間割となります。)

※単位とする場合、1日4コマ(1コマ90分)計20コマ(30時間)・2単位。評価はレポート、実習などによります。

受講料 20,900円(当館維持会会員・友の会会員は18,800円)

定員 30名

申込方法 (1) 博物館実習としない方(抽選制。2025年5月1日～3日まで受付ます。)

ホームページの申込フォームよりお申してください。なお、日本近代文学等の単位とする方は、その単位名を明記してください。

受入れの可否は5月5日以降メールでお知らせいたします。

(2) 博物館実習とする方(抽選制。2025年4月1日～15日まで受付ます。)

2025年4月1日～15日までに(必着)にホームページの申込フォームよりお申してください。

受入れの可否は4月16日以降メールでお知らせいたします。

ご注意 申込後に自動返信メールが届かない場合は申込ができておりません。その場合はお電話でお問い合わせください。

問合先 TEL. 03(3468)-4181 〒153-0041 目黒区駒場4-3-55 日本近代文学館「文学館演習」係

内容・講師

これまで、学習院大学大学院、埼玉大学大学院、成城大学大学院、日本女子大学大学院、梅光学院大学大学院、福岡女子大学大学院、佛教大学大学院、武蔵大学大学院…等で単位認定を受けています

	1時限(10:00～11:30)	2時限(11:45～13:15)	3時限(14:00～15:30)	4時限(15:45～17:15)
26日(火)	<総論> (1)オリエンテーション ★10:00～10:40 (2)近代文学館とは ★10:50～11:50 (日本近代文学館理事長)	<総論>★12:00～13:10 日本近代文学館の所蔵資料とその意義 (日本近代文学館専務理事)	<資料の収集と活用> 資料を活用する研究法(講義・演習) (1)図書 石田仁志(東洋大学教授)	<資料の収集と活用> 資料を活用する研究法(講義・演習) (2)自筆資料 渡部麻実(日本女子大学教授)
27日(水)	<資料の収集と活用> 資料を活用する研究法(講義・演習) (3)雑誌 大原祐治(実践女子大学教授)	<資料の収集と活用> 図書・雑誌の利用①(実習) (事務局)	<資料の収集と活用> 図書・雑誌の利用②(実習) (事務局)	<文学の周辺(1)> 文学と映画(講義・演習) 吉田司雄(近代文学研究者)
28日(木)	<資料の収集と活用> 資料を活用する研究法(講義・演習) (4)新聞 山田俊治(横浜市立大学名誉教授)	<文学をめぐる問題> 海外における日本文学の研究(講義・演習) 和田博文(東京女子大学特任教授)	<資料の保存・公開・展観> 資料の公開・展示(実習) (事務局)	<文学をめぐる問題> 文学と大衆(講義・演習) 山岸郁子(日本大学教授)
29日(金)	<資料の保存・公開・展観> 資料の公開・図録(実習) (事務局)	<資料の収集と活用> 挿絵・写真資料の調査・保存(実習) (事務局)	<資料の保存・公開・展観> 資料の保存・修理(実習) (事務局)	<文学の周辺(1)> 出版メディアの戦略・検閲(講義・演習) 五味淵典嗣(早稲田大学教授)
30日(土)	<資料の収集と活用> 肉筆資料の解説(実習) (事務局)	<文学の周辺(2)> 挿絵・口絵と文学(講義・演習) 出口智之(東京大学准教授)	<文学の周辺(2)> 文学と美術・音楽・舞踊(講義・演習) 坪井秀人(早稲田大学教授)	<総括> 日本近代文学館に対する要望(質疑応答) 理事、事務局